

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
プライマリ・ケア認定薬剤師研修会
一元的・継続的な薬物療法をするためのアドバイス
(2019年7月14日 日曜日)東京開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構（GPC）から「特定領域」の認定制度としての認証（認証番号P02）を取得いたしております。】

平成30年12月25日に厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会から「薬剤師が本来の役割を果たし地域の患者を支援するための医薬分業の今後のあり方について」が報告され、患者支援のあり方として「療養環境に関わらず、医師と薬剤師が密に連携し、患者の服薬状況等の情報を一元的・継続的に把握し、最適な薬学管理やそれに基づく指導を実施する」と記載された。本研修会では、医師・薬剤師からそれぞれの専門領域について学ぶ。

(細則による必須領域：A, C, D, E, F)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会
2	研修期間	2019年7月14日(日)
3	研修会場	アーバンネット神田カンファレンス 2階2A 〒101-0047 東京都千代田区内神田三丁目6番2号 アーバンネット神田ビル2階 案内図 http://kanda-c.jp/access.html
4	認定単位	薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)、医師:5単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	90名(講義形式)
7	受講申込	締切り:2019年6月27日(木)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は9,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

申し込み先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpc@ayumi.jp

プログラム

2019年7月14日(日曜日)

9:00～	受付
9:20～10:50	<p>①「薬物療法以外の精神科治療について」</p> <p style="text-align: right;">講師:今村 弥生</p> <p>精神障害からの回復（リハビリ）を達成するためには、患者当事者の特性・好みに合わせた多面的なアプローチが必要です。本研修では向精神薬の薬物療法以外の治療アプローチについて学習します。認知行動療法・マインドフルネス・森田療法・内観療法・精神科リハビリテーションについて紹介します。</p> <p>(細則による必須領域 A, B, C, D, F)</p>
11:00～12:30	<p>② 「心不全治療のトレンド～薬物治療と侵襲的治療を使い分ける～」</p> <p style="text-align: right;">講師:高見澤 格</p> <p>近年超高齢化社会を迎え、心不全患者数も増加の一途をたどっている。これまでは、積極的医療をせずに見送ることの多かった高齢者も、薬物治療の進歩や積極的な外来介入によって心不全と上手につきあっていけるようになってきた。一方で、カテーテル治療や外科手術の低侵襲化が進み、高齢患者に対して侵襲的治療をする機会も増えてきた。これまで以上に薬物治療と侵襲的治療を適切に提供することが求められる時代となっている。構造的疾患を中心に、最近の心不全治療に関して言及する。</p> <p>(細則による必須領域 A, C, D, E)</p>
12:30～13:20	昼食（各自でご持参ください）
13:20～14:50	<p>③ 「 知っておくべき外用薬の患者説明 」</p> <p style="text-align: right;">講師:大谷 道輝</p> <p>外用薬は、多くの剤形があり、患者への説明では十分な知識が不可欠です。そのため、外用薬の患者への説明は十分に行われていないのが現状です。坐薬は小児を中心に繁用されていますが、薬剤師自身が坐薬を使用した経験が少なく、説明が困難になっています。本講演では、繁用される外用薬の患者説明のポイントを紹介します。</p> <p>(細則による必須領域 A, C, D)</p>
15:00～16:30	<p>④ 「これからの薬剤師に求められる緩和医療 ～オピオイド鎮痛薬を使いこなす～」</p> <p style="text-align: right;">講師:金子 健</p> <p>痛みは、がん患者さんにとって Quality of Life (QOL) を低下させる大きな要因となっています。痛みなどの随伴症状があれば、その治療をがん治療と並行して行っていかなければなりません。そして、身体的、精神的、社会的、そしてスピリチュアルを含めた苦痛を包括的アセスメントすることが重要となります。</p> <p>前半は痛みのアセスメントについて、後半は症例を提示しながらオピオイド鎮痛薬について一緒に考え知識を深めていきます。</p> <p>(細則による必須領域 A, B, C, D)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

今村 弥生(医師) 杏林大学 精神科

高見澤 格(医師) 榊原記念病院

大谷 道輝(薬剤師) 公益財団法人佐々木研究所附属 杏雲堂病院 診療技術部

金子 健(薬剤師) 慶應義塾大学病院 薬剤部・緩和ケアセンター専任薬剤師